

はじめに

教務委員長 木村 理

平成18年度の研究室研修レポートをお届けします。

研究室研修は、第3学年後期に開講される科目であり、少人数ごとに基礎あるいは臨床分野に配属され個別指導をうけるものです。通常の授業あるいは臨床実習においては、医学に必要とされる膨大な知識・技術の習得に追われ、周りを見渡す余裕をもつことが困難です。その点、研究室研修では4週間という一定期間、各教室の先生方とともに過ごし、各分野で行われている最先端の研究に触れることが出来るのです。

研究室研修では、「未知の何か」を求める様々な研究の場に身を置き、その雰囲気を感じながら自らが思考することを要求されます。このような経験あるいはトレーニングは、医学を修得する上で必要不可欠なものです。なぜなら、「医学」それ自体が「科学」であり、知識や技術の習得で完成するものでないからです。そして、生涯にわたり一人一人異なる患者さんに対応し、また日進月歩に進化する医学的知識や医療技術を自ら学び応用していく必要があるからです。

この研究室研修レポート作成はこの体験の記録であります。そして自ら観察したこと、考えたことを記述することはまさに科学の基本となるものです。このレポートからは、各研修における学生諸君の活発な研究活動の様子や思考過程、また先生方との会話がまさに聞こえてくるようです。学生諸君には是非ともこの貴重な経験をこれからの勉学に生かしていくことを期待しています。そして卒業後も一定期間、基礎研究・臨床研究を経験していただきたいと思っています。

最後になりましたが、学生一人一人にご指導いただきました各分野の先生方に敬意を表しますと共に、教務委員会を代表いたしまして心より感謝申し上げます。

平成 18 年 度

研 究 室 研 修 報 告 書

山形大学医学部教務委員会